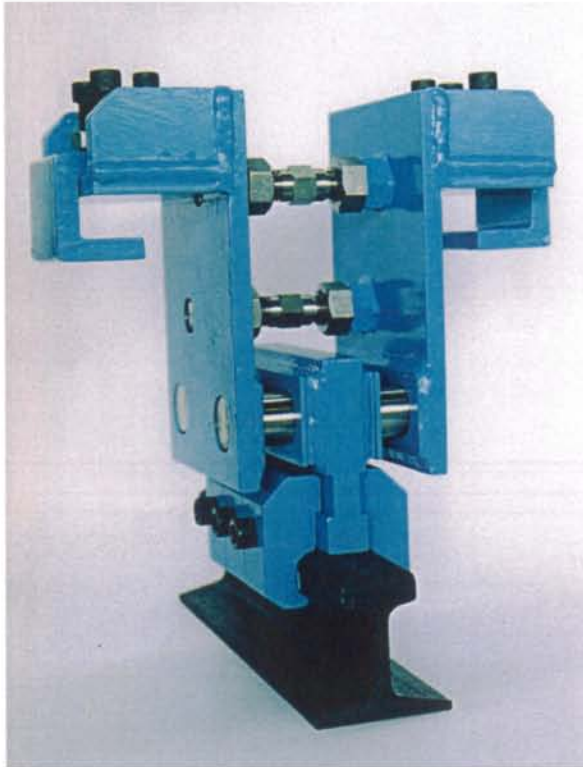


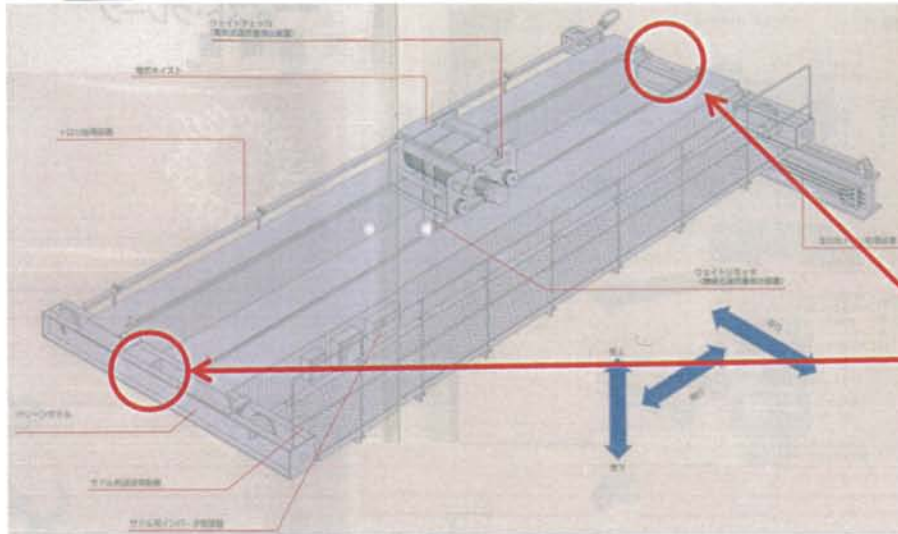
クレーングリッパーの概要



クレーングリッパー 全体写真

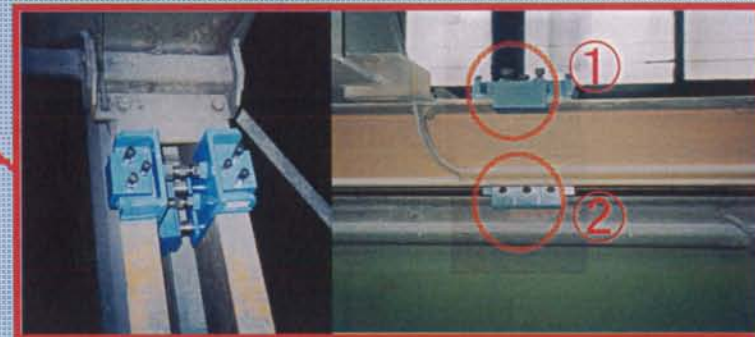
- 基本構造
- 特 許
- 設置に関して
- 事前調査事項

クレーングリッパーの基本構造①



天井クレーン鳥瞰図
(三菱電機FA産業機器(株)パンフレットより)

天井クレーン1台につき、
クレーングリッパーを
2箇所設置

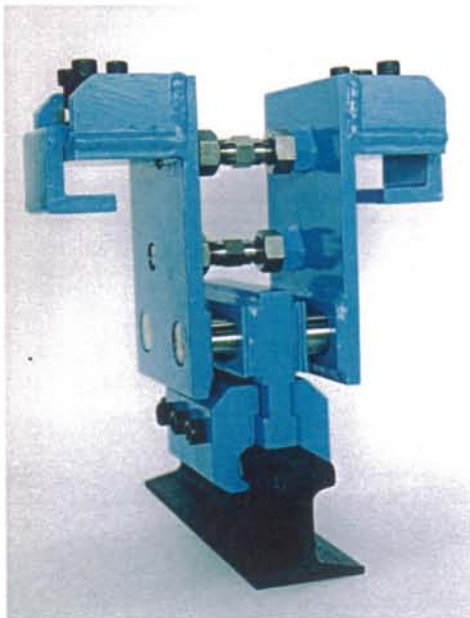


設置したクレーングリッパーを上(左図)横(右図)から
見た写真

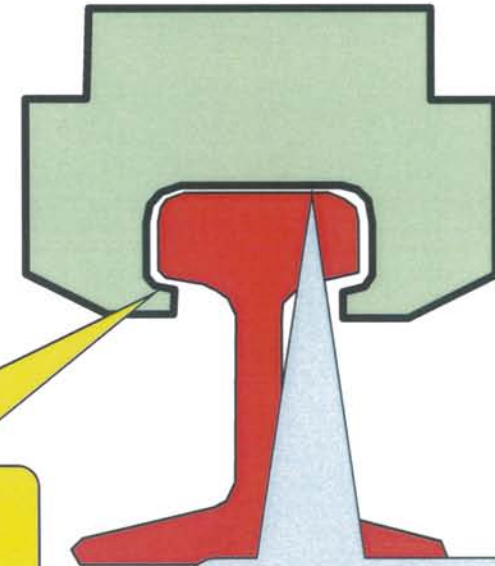
- ① サドルとグリッパーを一体化
- ② レールと一定のすき間を確保しながら、つかむ(グリップ)状態を維持

クレーングリッパーの基本構造②

走行レールに沿ってしゅう動し、
レールをつかむ状態を維持するため、
物理的に外れない



左右にしゅう動



ツメでつかむ構造

レールとグリッパー
の間には隙間がある

天井クレーンの加振実験

■ 多軸同時振動試験装置による加振



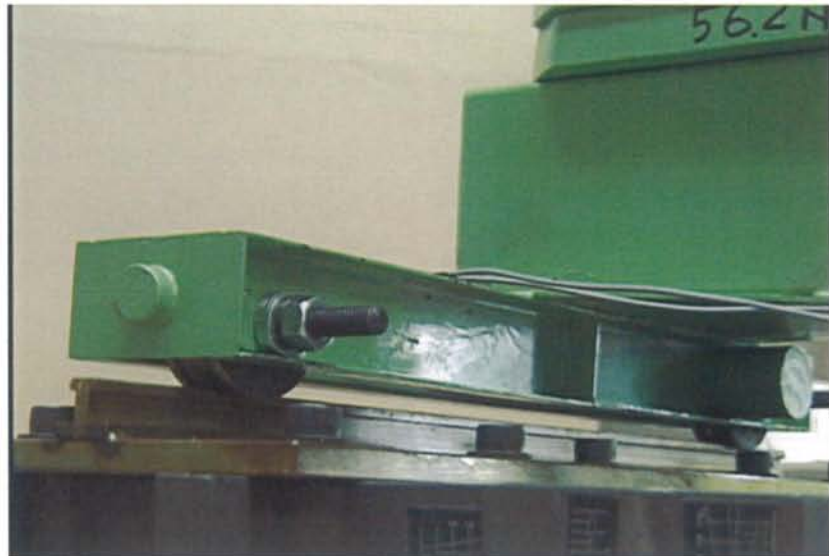
加震実験の条件

クレーン: 寸法を1/5倍に縮小
最大加振:

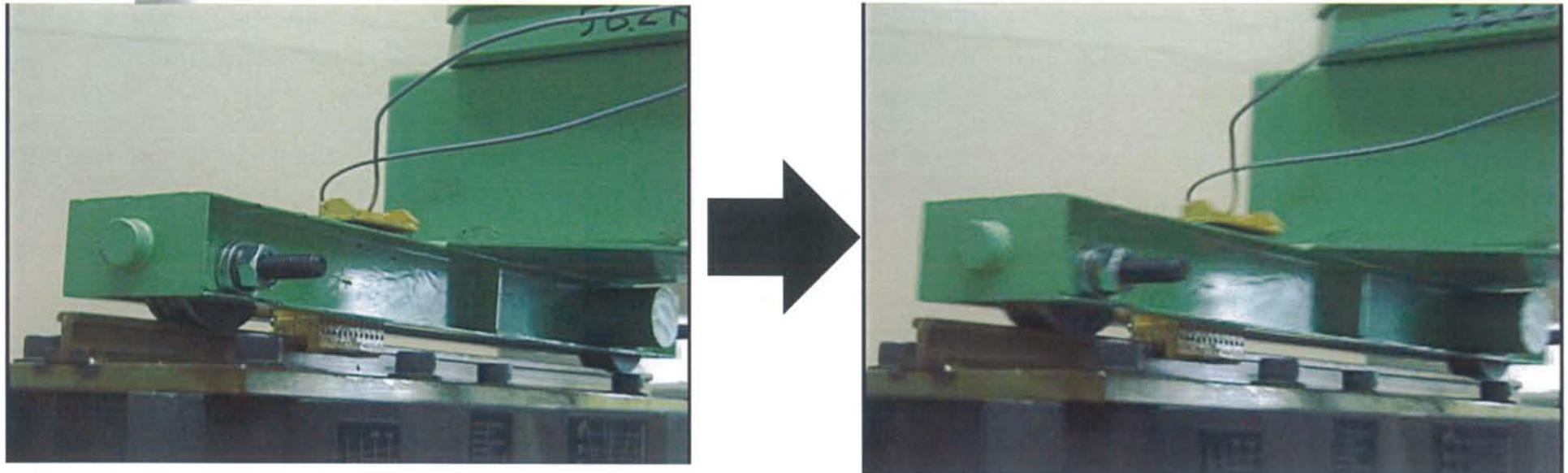
- ・水平レール直角方向(Y軸):
正弦波(2G/10Hz) + ランダム波
- ・鉛直方向(Z軸):
水平軸の1/2倍

香川県産業技術センターにおける加震実験の様子

CGなし(震度6強相当) 脱輪！

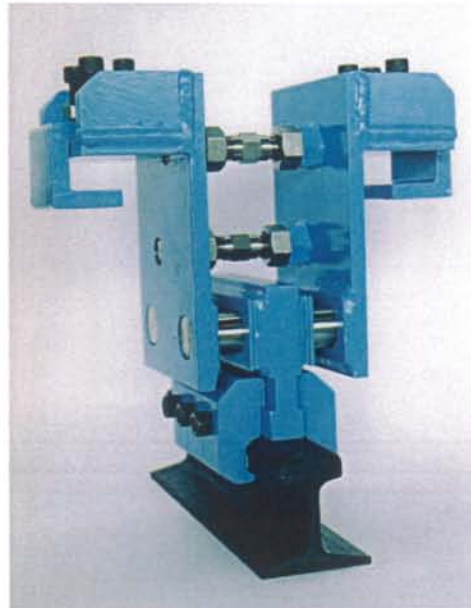


CGあり(震度6強相当)



レールをつかんだ状態を維持し、
脱輪落下は生起しなかった

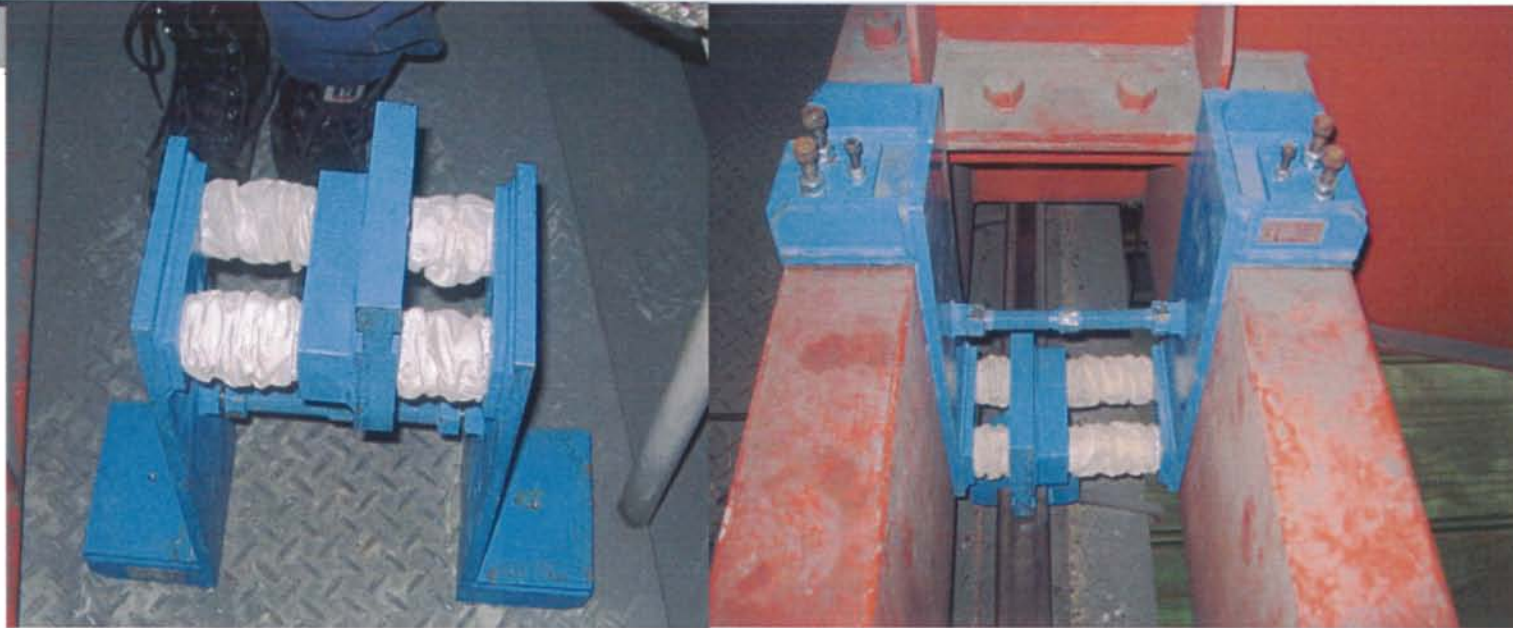
特許



特許証番号
第3623950号
(株)今井鉄工所

特許庁の標準技術集に天井走行クレーンの
地震対策装置として唯一登録

粉塵対策



粉塵によりスライド動作に支障がないようにオプションでカバーを設置致します。